



データでみる福島再生

最近の動き

○除染等工事の進捗状況

- これまで、双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村、葛尾村が特定復興再生拠点区域として計画・認定され、家屋等の解体・除染等を実施し、概ね完了したことをうけ、令和5年5月1日までに全ての町村※において、避難指示が解除されました。

※富岡町の点・線拠点については、別途協議のうえ避難指示が解除される見通し

○除染仮置場等の状況（福島県内）

- 仮置場等総数1,372箇所のうち、26箇所で除去土壌等を保管中、1,346箇所では搬出が完了し、1,177箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- 除去土壌の分別処理を行い、6月末時点で、約1174.9万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- 廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、6月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器19,442個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- 2023年6月末時点で、約1,351万 m^3 の除去土壌等（帰還困難区域を含む）を中間貯蔵施設へ搬入しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- 用地取得については、6月末時点で契約者数1,854人、面積約1,286haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- 災害廃棄物等の仮置場への搬入については、5月末時点で、約335万トンの搬入を完了しました（うち、約57万トンが焼却処理済、約229万トンが再生利用済）。
- 被災家屋等について、5月末時点で、約18,200件の解体申請を受付済であり、約17,600件を解体済です。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- 5月末時点で、約145万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

○**特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況**

- ・6月末時点で、281,693袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○**クリーンセンターふたばへの搬入状況**

- ・6月末時点で、1,082トンクリーンセンターふたばへ搬入しました。

○**放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（6月実施）**

- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターにおいて、専門家派遣を1回、住民セミナーを18回実施しました。
- ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を1回実施しました。
- ・内部被ばく検査（WBC）を10日間実施しました。
- ・ガンマカメラを活用し、仮置場の現状回復後の放射線測定を10台日実施しました。

○**帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況**

- ・今年度の捕獲数は、6月末現在でイノシシ70頭、アライグマ74頭、ハクビシン44頭となっています。